



## 平和とくらしを守る北九州市民の会

〒 803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F  
TEL 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>  
e-mail : [koe@siminnokai.com](mailto:koe@siminnokai.com)

変えよう！  
平和とくらしを  
守る市政へ

八幡西区民の会が報告・学習会

# 実現しよう！

## 無料で安心・安全の学校給食 補聴器の購入に助成制度を

2027年初頭の市長選挙を目指し、八幡西区民の会は11月29日午前、報告・学習会を開催し、24人が参加しました。

司会を務めた教育後援会の佐藤美智子さんは、「武内市政がスタートして約3年、『稼げる街』をスローガンに市政運営が続いているが、人口はついに90万人を割り、市民の暮らしも地域の経済も苦しくなる一方」「武内市政とはどんな市政なのか、自民・維新の高市政権への態度はどうなのか」を学び、市長選に向けて、市民の会の方針と当面の運動を意思統一し、運動にするための集会ですと紹介。

開会の挨拶を代表委員の田邊匡彦弁護士が行った後、永井佑市会議員がパワーポイントで武内市政の実態と改革の方向と題して、報告を行いました。

永井市議は、11月10日、11日に、給食無償化、補聴器購入補助、下北道路など40項目を政府交渉した結果と、高市政権の台湾有事への国会答弁、軍事費の拡大、オスプレイの飛行計画など、国政と市政の実態を告発しました。

続いて、武内市政が掲げる「稼げる街」の真相や、給食無償化への市の態度などを詳しく報告し、武内市政の実態は、「国見て、国待ち、国通り」であり、要求を広げて変えよう、市政を変える力は、市民の声と行動と訴えました。会場から「黒崎バイパスの完成見込み」「補聴器購入助成の展望」「年金がわずかに増えたら市住家賃が大きく増えた」「給食無償化の展望」など質問が出され、意見交換がされました。

続いて、2027年初頭の市長選を目指す、市民の会の方針と当面の運動について、市民の会・石田康高事務局長代行が3つの行動を提案しました。



### 【市長選挙を目指し、2ヶ月に1回のペースで、市政学習講座を行う】

- 第1回市民講座（8月23日）は、武内市政の実態と改善策と題して荒川市議団長を講師に開催し48人の参加。
- 第2回市民講座（10月11日）は、医療、介護、福祉の実態と題して、仏教大学の長友薰輝准教授を講師に開催し50人の参加。
- 第3回市民講座は、12月13日（土）14時、ムーブ大セミナー室にて、学校教育現場の実態を中心とした報告。
- 第4回市民講座は、2月14日（土）、14時、ムーブ大セミナー室にて、軍拡、基地問題など平和問題を中心とした報告。
- 第5回は地域経済、中小企業対策、第6回は防災、街づくりを計画しており、成功させよう。

### 【学校給食の無償化】

昨年、25,000筆の署名で市長の姿勢を変え、「2026年度に無償化を実施する」と表明させた運動を更に強め、12月3日（水）に「緊急署名」を提出するので協力を。

### 【補聴器購入の助成】

昨年、個人署名1万1397筆、団体署名28団体（内、医療機関26団体）を集めて陳情したが、市の態度を変更させるまでに至っていない。

11月9日に開催した第二次署名スタート集会（51人）を契機に、来年6月議会に向けた運動を広げよう。

「市民講座」「給食無償化」「補聴器助成」を中心に、市民との対話で平和と暮らしを守る運動を広げ、総選挙も市長選も元気に愉快に取り組もう。と提案しました。

提案は満場の拍手で採択され、閉会の挨拶を伊藤淳一市会議員が行いました。会場で、給食署名が33筆、補聴器署名が14筆集まりました。

## 学校給食無償化の早期実現を！

市長・教育長申し入れ（11/12）

市議会へ請願署名を提出（12/3）

学校給食の無償化をめざす会は、11月12日、市長と教育長に対して、「学校給食の無償化と質の向上をセットで」必ず実行を求めるとともに、「市長の来年度実施は市民との約束を守るよう」申し入れを行いました。155名のビデオメッセージもいっしょに届けました。

申し入れには、財政局予算課長と教育委員会学校保健課長が対応し「国の小学校給食を無償化への動きとなっていることは承知している。国の負担がどうなるのかまだ明らかではない。市の第3回プロジェクトチーム会議は、現在のところ計画していない。給食無償化の経費は小学校で20億円、中学校は13億円である」とコメントしました。

申し入れ事項は次のとおりです。

- ◎給食は食育であり教育です。無償化に必要な予算は0.5%、優先順位を変えることで可能です。教育に差別があってはいけません。
- ◎市長の表明は、市民との約束です。無償化を必ず実行してください。
- ◎国の制度決定を待たず、市独自ですべての学年での無償化を早急に実施してください。



「めざす会」メンバーの皆さん  
請願署名を市議会事務局に手渡す

◎無償化とともに、質の向上をセットで、早急に実施してください。

◎地元農産物を取り入れて栄養のある給食を。有機栽培農家を支援してください。



12月3日は、北九州市議会議長へ「早急にすべての学年で学校給食無償化を求める」請願署名1433筆を添えて提出しました。

令和8年度に無償化を実施するという市長の表明は市民との約束であり、学年を限定する差別や期間の限定でなく、必ず実現することと同時に、質の向上を行い、地産地消や有機農産物の活用、安心・安全な給食を推進すること求めています。

## 「平和をあきらめない北九州ネット」19日行動 「さよなら原発北九州連絡会」638回金曜行動

小倉駅前で訴える参加者の皆さん



826 被害想定の変更を受け海拔表示版の増設 (FBS 報道)

12月19日(金)、18時から1時間、上記市民運動団体が共同し、小倉駅前で街宣行動をして、市民にアピールしました。

### ■「さよなら原発北九州連絡会」の街宣行動

第638回のさよなら原発金曜行動は、六ヶ所村再処理工場の廃止とすべての原発の即時廃止をアピールしました。

2026年のさよなら原発北九州集会は、以下の要領で開催されます。

~原発の復権を許すな~さよなら原発！3.8北九州集会  
日時 2026年3月8日(日) 12:50~14:00  
会場 勝山公園(図書館横) 集会後デモ

### ■「平和をあきらめない北九州ネット」の街宣行動

19日行動は、高市内閣の対米従属ぶりと無能を明らかにし、米国に戦争に付き合うのは、もうやめませんかと訴えました。

全力で米国に応える高市内閣は

1. 軍事費の国内総生産(GDP)比2%目標の25年度内前倒し達成
2. 中国本土への攻撃が可能な長射程ミサイルを配備予定
3. 米軍と一体となった演習や訓練をくりかえし、南西諸島の住民に避難訓練

## 平和をあきらめない 北九州ネット 第11回総会

日時 1月31日(土)14時から

場所 北九州市立生涯学習総合センター  
3階ホール(小倉北署横)

内容

第一部 25年度の経過報告、会計報告

26年度の方針、取り組み

第二部

大分から 池田 年宏さんの報告

琉球新報記者 南 彰さんの講演

参加  
案内

【南彰氏略歴】

1979年 神奈川県生まれ。  
2002年 朝日新聞社に入社  
2008年から東京政治部・大阪社会部で政治取材を担当。  
2018年9月から2年間、新聞労連委員長・日本マスコミ文化情報労組会議(MI C)議長を務める。  
2023年10月、朝日新聞を退職。  
同年11月から琉球新報で記者・編集委員。著書に『絶望からの新聞論』(地平社)他。  
※資料代500円

戦わない覚悟  
—九州・沖縄の軍事化と抗う—

どうい時代に入り込んでしまったのか見極めて行動を考えるときです

「台湾有事は存立危機事態」「核兵器保有」「継戦能力」。高市政権になって、日本はまるで戦争前夜、臨戦体制に入ったかのような言葉が飛び交います。南西諸島の軍事力強化だけでなく九州島内でも敵基地攻撃用の長射程ミサイル配備が予定され、民間の港湾、空港を使った軍事訓練は頻繁に行われています。どうい時代に入り込んだのか、見極める必要があります。

南彰記者の講演は、沖縄に報道の拠点を置き、急激に進む軍事化をリアルにつかみ、人々の闘いを伝えます。今こそ力を合わせて闘う時です。多くの参加をお願いします。

## 南海トラフ地震の津波で

### 門司港地区への影響が知りたい

危機管理室は「被害想定など資料ができない」?

11月30日、平和とくらしを守る市民の会は、今年7月、国の中防災会議で南海トラフ地震防災対策推進計画が変更されたことを受けて、「どうなる門司港地区の対策」を聞くために、北九州市の防災担当である危機管理室に出前講演を依頼し開催しました。

### 市は、「自助が基本」の防災対策説明

事前に門司港地域にお住いの方から「門司港地域の被害想定をどのように考えているのか」「地域の避難場所」「災害後の復興」など9項目の疑問や質問を文書で要請していました。これに対して、市は「南海トラフ地震の影響に絞っての話は2項目しかできない」との返事が事前にありました。まずは市の出前講演を開催することが大事であるとの判断で実施しました。

参加者から南海トラフ地震での津波による門司港地区や新門司への影響を知りたいなどの質問が相次ぎましたが、市は「被害想定などの資料がまだできていない」と答弁を繰り返すだけでした。

### 市の回答に不満

参加者からは、「南海トラフ地震の話が少なく、一般的な災害対策だった」「南海トラフ地震への国の防災対策計画が変更されたのに、危機管理室の対応は福岡県まちとなっている」「北九州市の対応がおくれていることがわかった」などの感想が寄せられました。

いま、何ができるか

2026年 第4回市民講座

## 平和と民主主義、くらしを守るために

平和と民主主義、そして私たちのくらしを守るために、いま何ができるのか。この講演では現状を見つめ直し、未来を切り拓くための運動の意義を共に考えます。

ぜひご家族やご友人とお説明合わせのうえ、ご参加ください。

あなたの一步が社会を変える力になります。

どなたでも  
参加できます

2月14日(土)午後2時30分

男女参画センター「ムーブ」5階 大セミナー室  
(小倉北区)

ストップ！高市暴走政治  
～平和、民主主義、くらしを守る運動の意義～

講演 田村 貴昭 衆議院議員

※市民団体からの報告も予定しています



お願い：この会場で、13時30分から14時10分まで、平和とくらしを守る北九州市民の会「第38回幹事会」を開催します。幹事団体はご参加ください。

主催 平和とくらしを守る北九州市民の会  
連絡先 北九州市小倉北区田町13-21  
電話 093-592-5000

